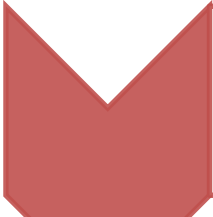


公共施設再生計画の取り組み

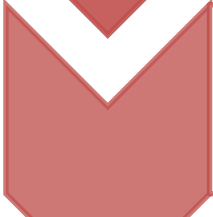
～未来のために～

平成26年 1月15日
公共施設再生に関するシンポジウム

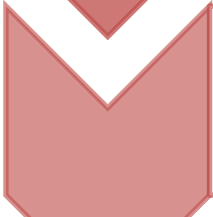
習志野市長 宮本 泰介



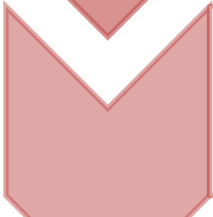
- ・ 情報化の進展



- ・ 情報発信元の不特定化



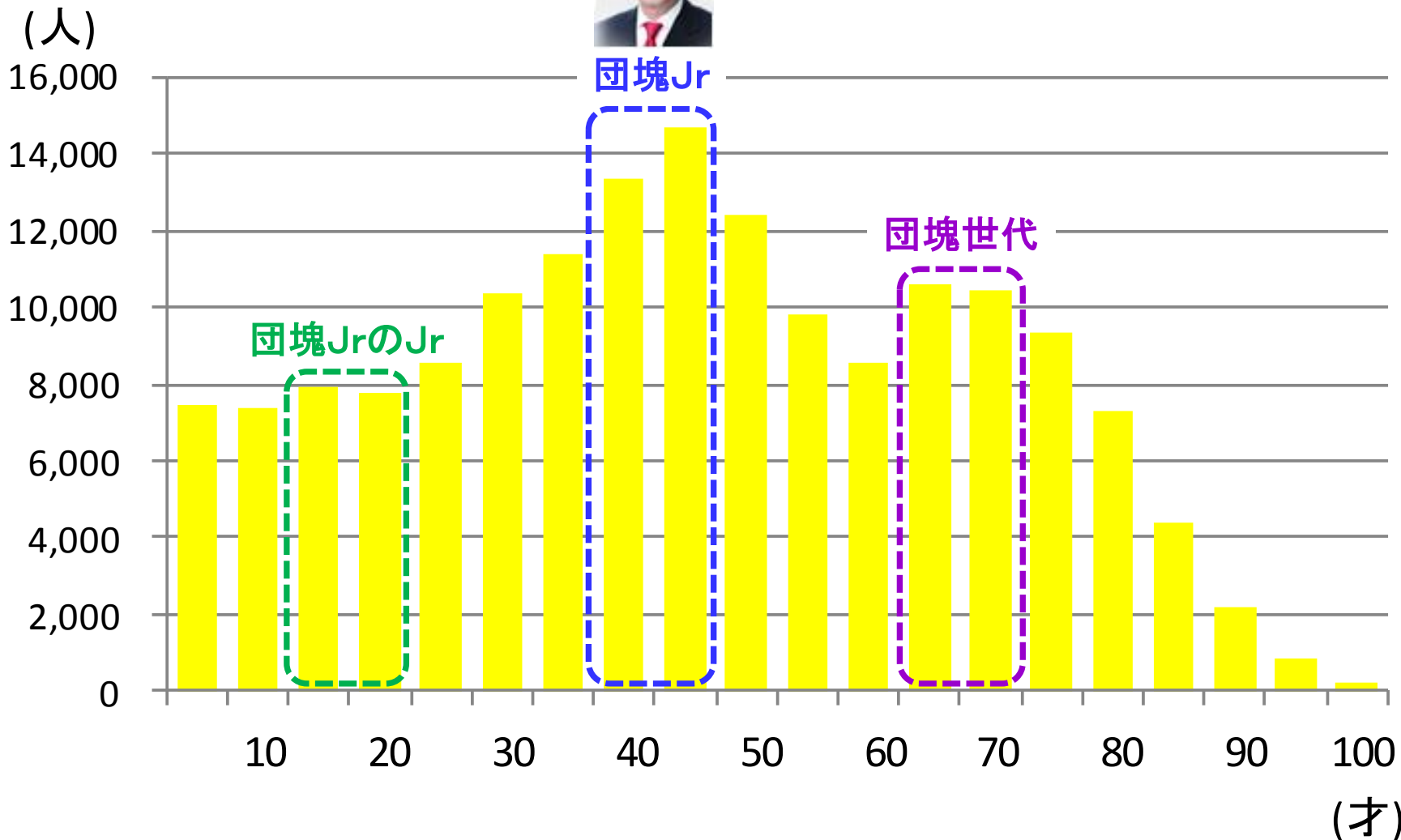
- ・ 真贋性の低下



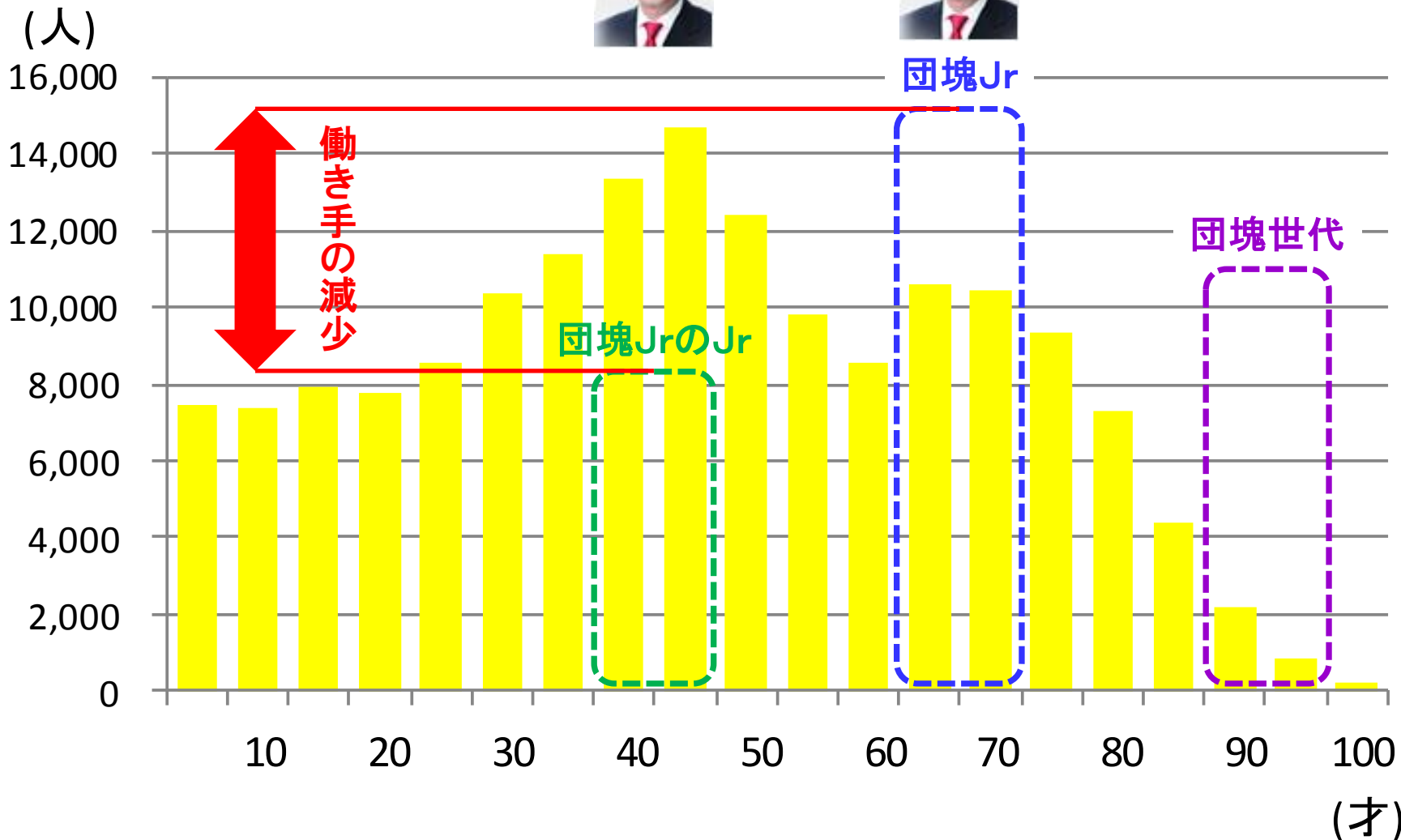
- ・ 価値観の多様化

ニーズの増加・多様化

人口構成(現在)



人口構成(25年後)

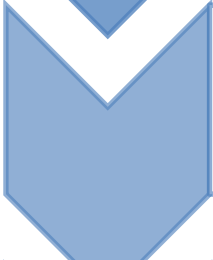




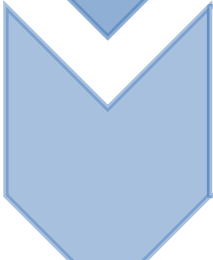
- ・ 少子化



- ・ 働き手の減少



- ・ 社会資本整備の担い手減少



- ・ 社会保障の受給者増加

縮小していく財源

ニーズの 増加・多様化

縮小していく 財源

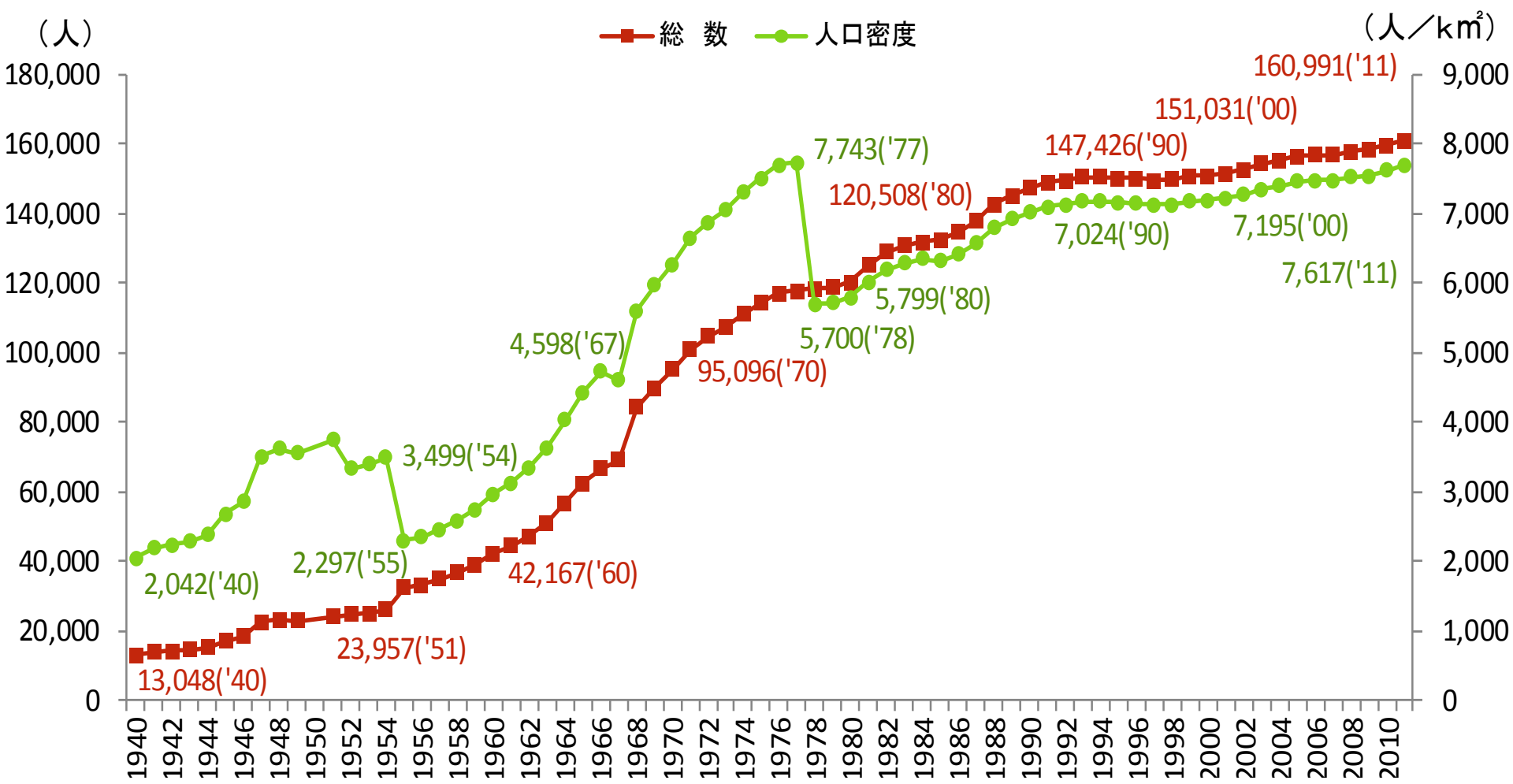
- 「思いやり」をもった合意形成！
- 次世代には「優しさ」を！
- ピンチをチャンスに！「費用」を「資源」に！
- お金が無ければ知恵を出そう！
- 誰かに全てを頼るのではなく、一人一人が
少しずつ助け合おう！
- リーダーシップをもってがんばります！

このシンポジウムの
目的の一つ

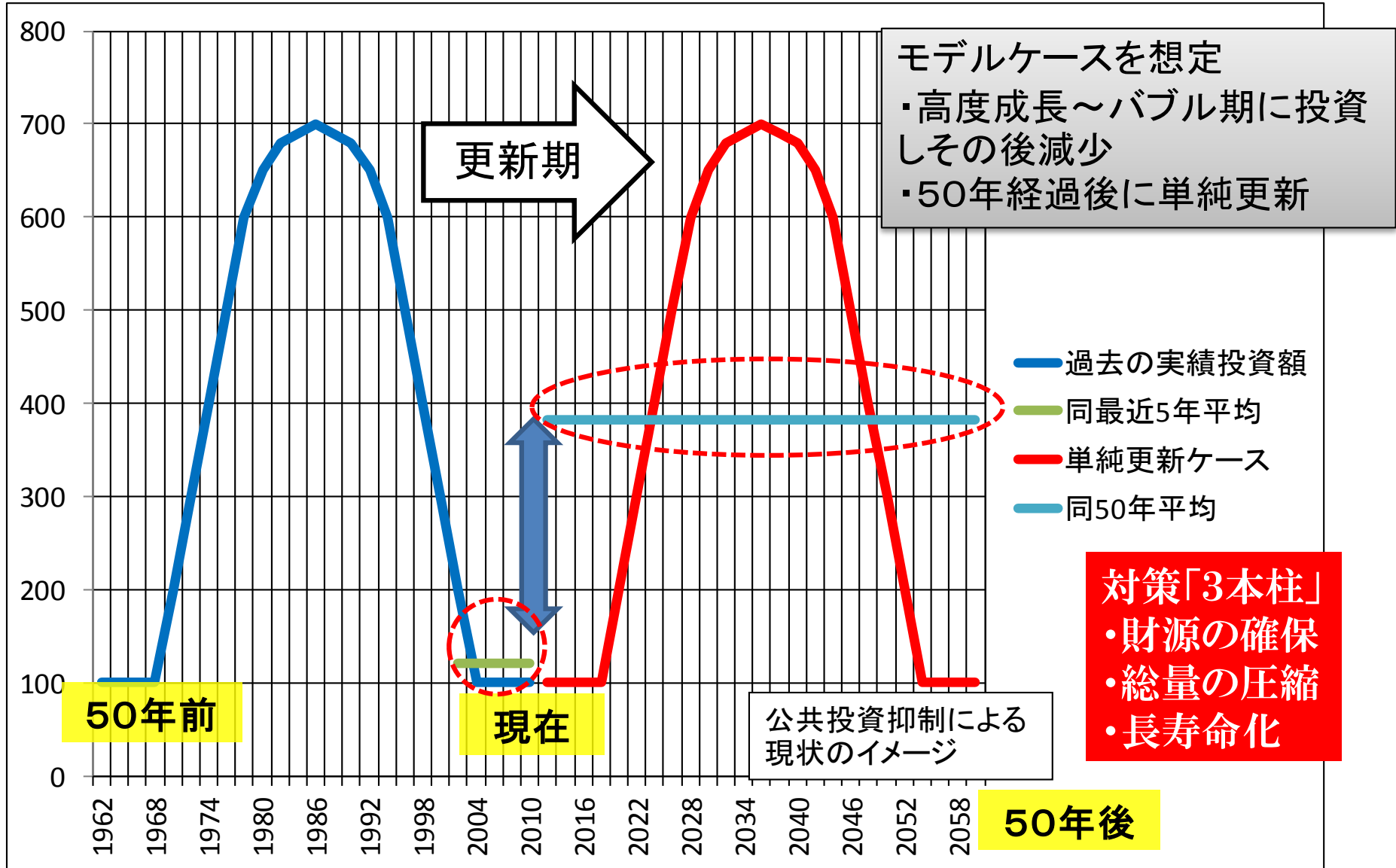


合意形成を促進すること

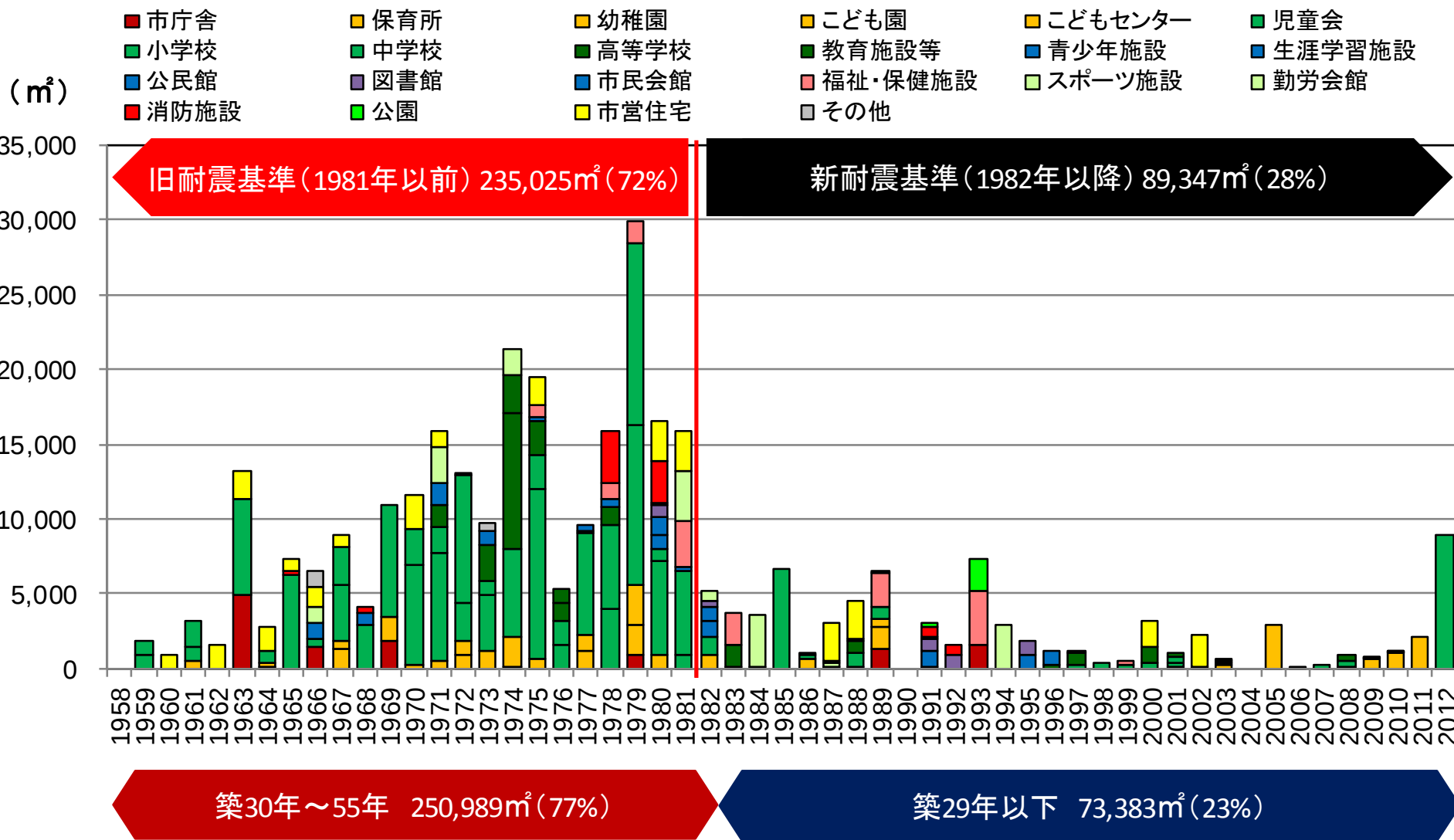
人口総数の推移



公共施設の更新サイクル

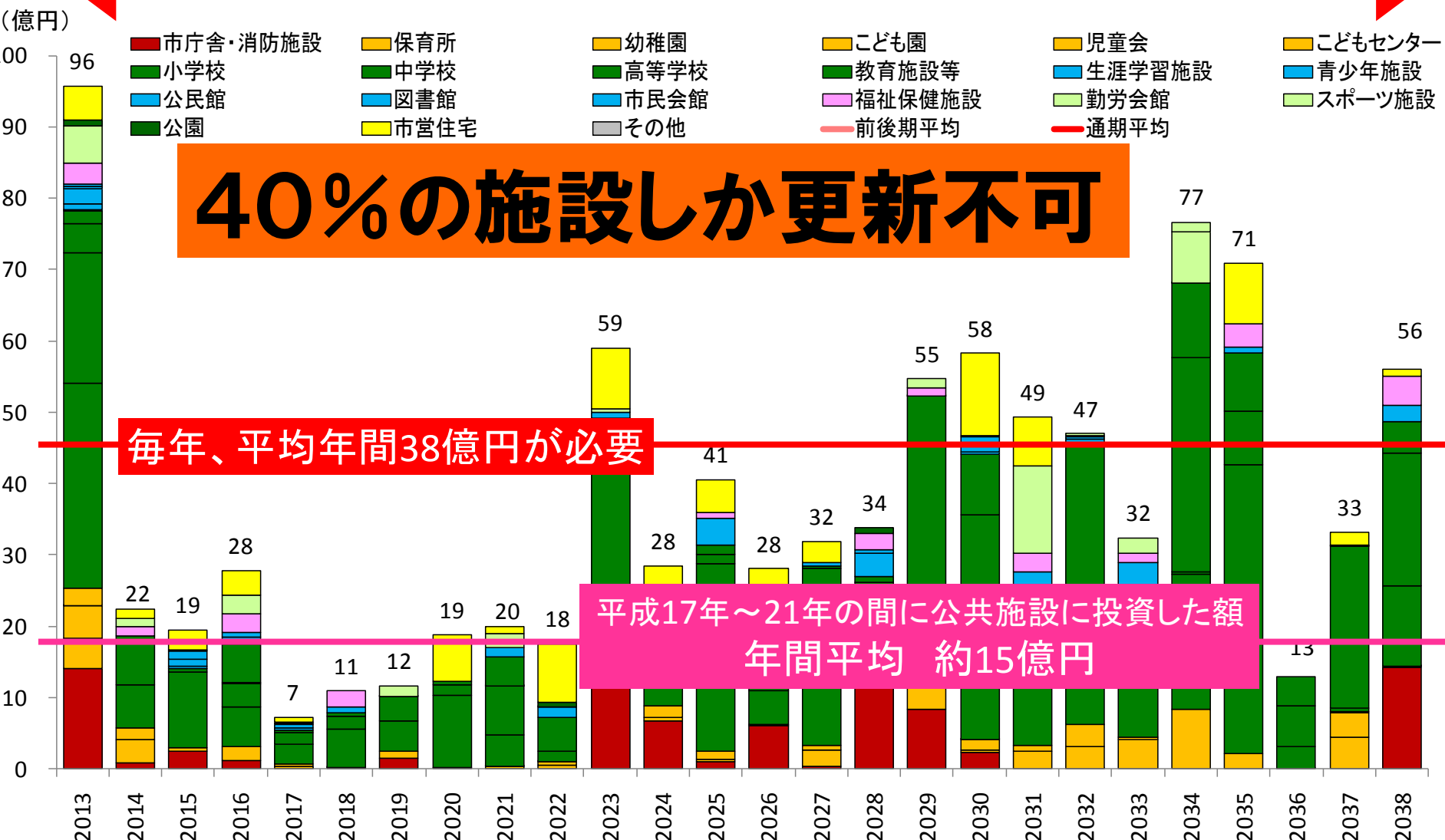


公共施設の現状

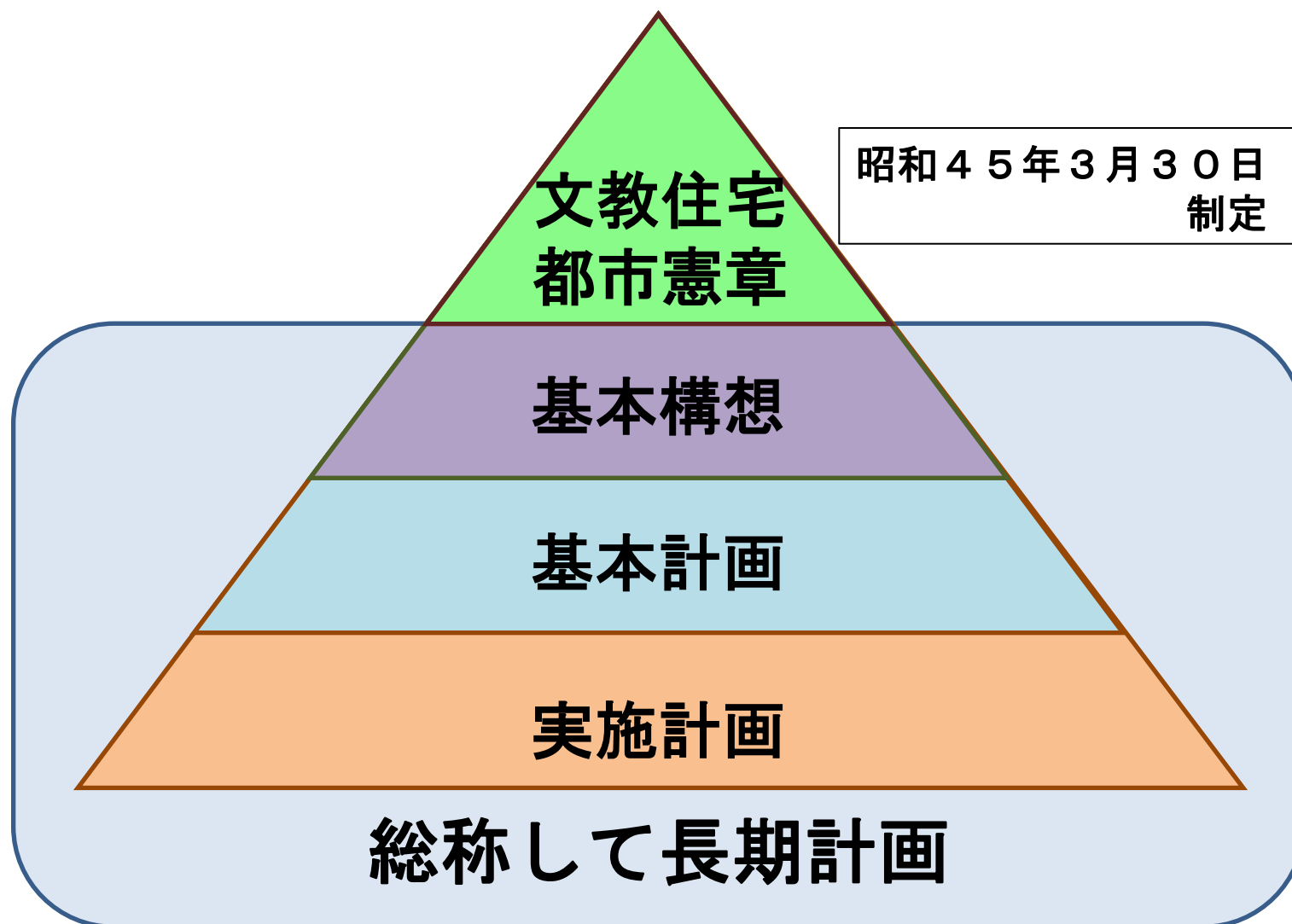


事業費の試算

965億円



文教住宅憲章と長期計画の全体像



習志野市は、平成37年度までに

将来都市像：
未来のために
～みんながやさしさでつながるまち～習志野

を目指します。

この将来都市像を実現させるために

3つの目標：
「健康なまち」「快適なまち」「心豊かなまち」

を掲げます。

そして、この3つの目標を支える為に

自立的都市経営の推進を図り、

この自立的都市経営の推進の中でも、特に

3つの重点プロジェクト：
「公共施設再生」「財政健全化」「協働型社会の構築」
に取り組みます。

公共施設再生計画の目的

1. 時代の変化に対応した公共サービスを継続的に提供すること
2. 人口減少社会の中で持続可能な都市経営を実現すること
3. 将来世代に負担を先送りしないこと

目的を達成するための目標

1. 公共施設が適正に維持されること。
2. 公共施設の延床面積を削減し、再生整備に必要な事業費を30%圧縮する。
※ 削減・圧縮率については、今後の公共施設再生計画の計画期間内の環境変化に応じて、適宜見直しを行っていきます。
3. ファシリティ・マネジメントを導入し、公共施設について事後保全から予防保全に転換し、長寿命化を図りライフサイクルコストを低減する。

再生の手法

財源確保

未利用地の
売却・貸付

起債

総量圧縮

複合化

多機能化

機能統合

長寿命化

予防保全

リノベーション

ファシリティ・
マネジメント

計画期間

平成26(2014)年
から
平成31(2019)年

平成32(2020)年
から
平成37(2025)年

平成38(2026)年
から
平成50(2038)年

基本計画（市の総合的な計画）

前期

後期

公共施設再生計画

第1期

詳細な内容

第2期

見直しの可能性あり

第3期

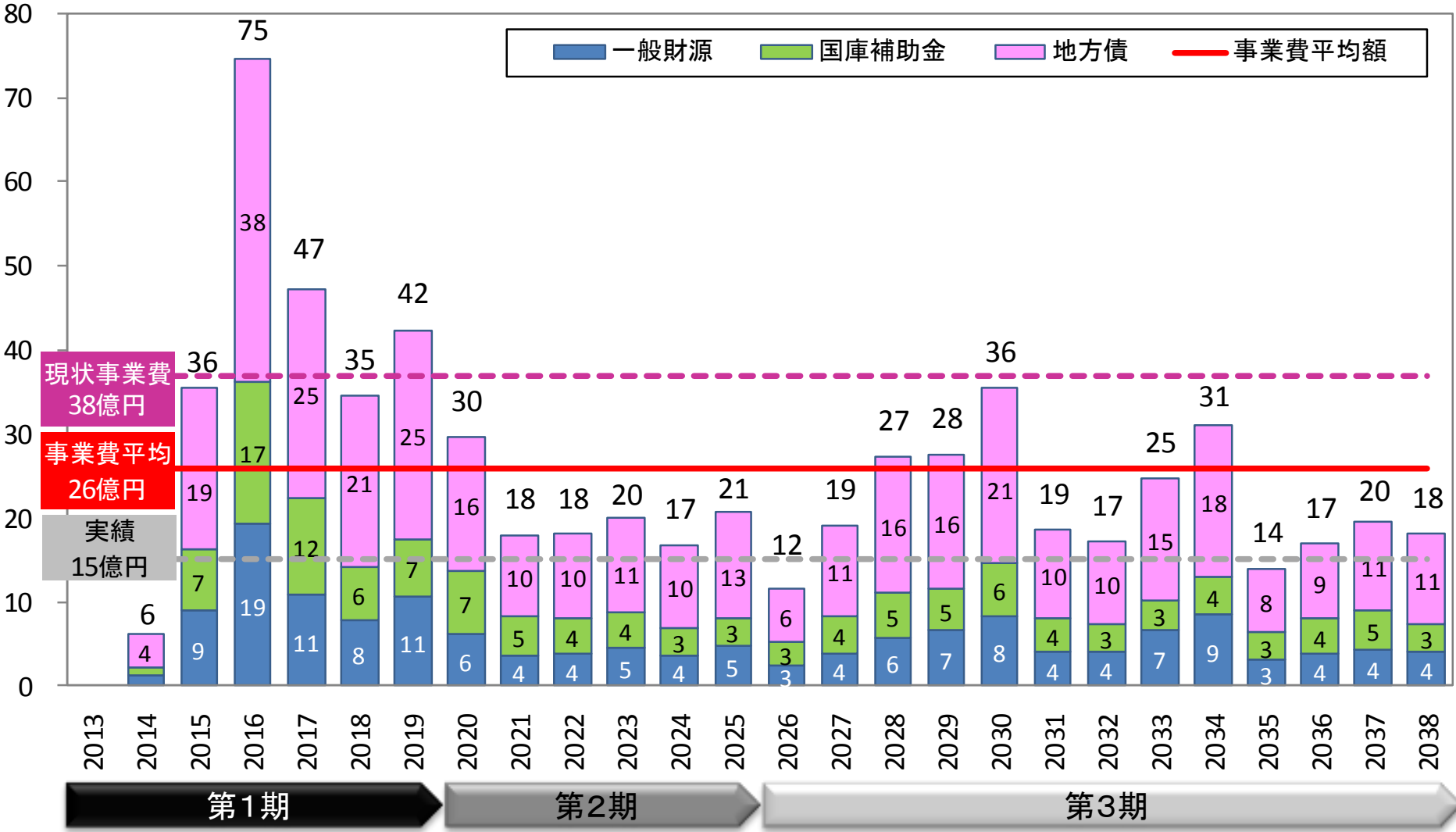
検討の時期を明確化

公共施設再生計画は リスク対応型計画による マネジメント



再生計画後の施設量と事業費

(億円) ← 645億円(現状比67%) →



パブリック・コメントは…
2月1日～28日です。

詳しくは、
広報習志野 または
習志野市ホームページ
「公共施設の再生」
をご覧ください。



お問い合わせは・・・

習志野市役所 資産管理課

仮庁舎(京成津田沼駅前ビル)2階

電話:047-453-9308

メール: zaikan@city.narashino.lg.jp